

施設カルテ

施設番号 99038 基準日 2016/04/01 出力日 2017/03/23

施設基本情報

施設名	保健所		
所在地(住所)	北区鹿田町一丁目1-1		
所管局区室課	保健所保健課		
FM大分類	行政事務系施設	FM中分類	保健・福祉施設
財産中分類	公用財産	地区	北区本庁管轄区域
財産小分類	その他の公用財産	財産細分類	その他
中学校区	桑田中学校	小学校区	鹿田小学校
複合化状況	有	防災上必要な施設	気象観測施設
管理運営	直営	延床面積	0.00 m ²
目的外使用	—	建築面積	0.00 m ²
土地所有状況	—	敷地面積	— m ²

施設概要 保健福祉会館2階(一部)、3階、4階(一部)、6階

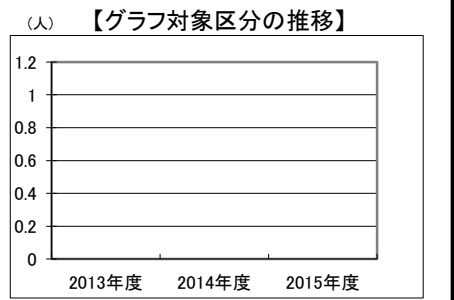
設置目的 —

設置根拠 岡山市保健所及び保健センター条例

用途地域	商業地域	法定容積率	500 %	法定建蔽率	80 %						
用途地域以外の指定地域	防火地域	全棟数	0 棟	駐車台数	0 台						
設備整備状況	備蓄用倉庫	—	環境配慮	出入口	○	ハザードマップ指定	洪水時の浸水深	0.01~0.5m未満			
	災害用備蓄の有無	—		廊下等	○	津波時の浸水深	指定なし	地震・危険度	建物全壊率が3%未満の地域		
	冷暖房設備	—		階段	×	地震・揺れやすさ	震度6弱の地域	地震・液状化危険度	きわめて高い		
	通信設備	—		昇降機	×	便所	○	土砂災害計画区域等	指定なし		
	調理設備	—		その他省エネ	—	駐車場	○	開設年月日	1998/04/01	供用廃止日	—
	入浴設備	—		分煙対策	屋外喫煙	—	—	—	—	—	
	代替電源設備	—		アスベストの使用	不明	—	—	—	—	—	

供給情報

区分	単位	2013年度	2014年度	2015年度	注記
年間開館日数	日				
1日当たり運営時間	時間				
在籍者数	人				
利用者数	人				★
定員数	人				
蔵書冊数	冊				
貸出冊数	冊				
病床数	床				
入院延人数	人				
外来患者延人数	人				
救急患者数	人				
管理戸数	戸				
入居戸数	戸				
収容台数	台				
利用台数	台				
契約利用台数	台				
証明書発行件数	件				
届出件数	件				
斎場利用件数	件				
貸室①					
貸室②					
貸室③					
貸室④					
貸室⑤					
貸室⑥					
貸室⑦					
貸室⑧					
貸室⑨					
貸室⑩					
貸室⑪					
貸室⑫					
貸室⑬					
貸室⑭					
貸室⑮					
貸室⑯					
貸室⑰					
貸室⑱					
貸室⑳					



凡例 —●— 利用者数(人)

《注記》
 ★グラフ対象指標区分
 ※貸室①～⑳の各年度表記は、次の通り。
 [利用コマ数], [利用可能コマ数]

備考

施設カルテ

基準日 2016/04/01

施設基本情報

施設番号	99038	施設名	保健所
------	-------	-----	-----

財務情報

区 分		2013年度	2014年度	2015年度	
歳出合計		0	0	0	
内 需用費	消耗品費	-	-	-	
	燃料費(ガソリン・重油)	-	-	-	
	光熱水費	電気	-	-	-
		ガス	-	-	-
		水道	-	-	-
	修繕費	-	-	-	
外 訳	役員費	-	-	-	
委託料	-	-	-		
使用料及び賃借料	-	-	-		
備品購入費	-	-	-		
その他経費	-	-	-		

●運営人員数(人)

常勤	-	-	-
非常勤	-	-	-

※運営人員数の人件費は理論値です。

区 分		2013年度	2014年度	2015年度
歳入合計		0	0	0
内 訳	指定管理	利用料金 (使用料)	-	-
		目的外使用料	-	-
		その他	-	-
	直営	使用料及び手数料	-	-
目的外使用料	-	-		

●施設分類内コストランキング(金額の高い順)

施設分類	保健・福祉施設	総施設数	20
区 分	総額(千円)	円/㎡	
2013年度	0	-	0
2014年度	0	-	0
2015年度	0	-	0

特記事項

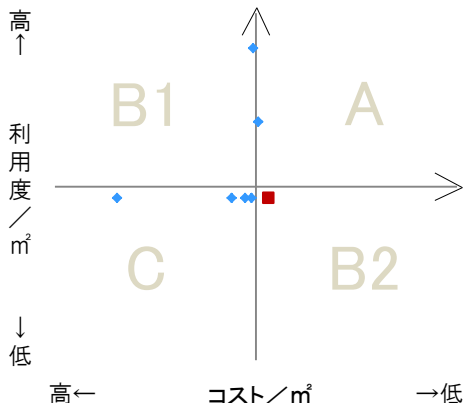
延床面積は、保健福祉会館に含んで計上。

施設メモ

費用対効果分析

【費用対効果分析(建物基本情報調査による定量的な分析)】

○費用対効果分析(㎡あたり利用度と㎡あたりコスト)

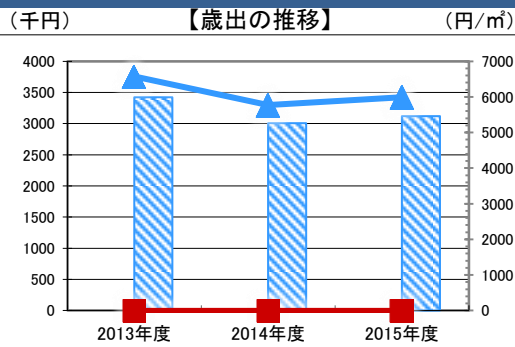


- ・軸の交差箇所は、用途を同じとする施設全体の平均値。
- ・平均値は、基準年度のコスト、利用度の平均を使用。

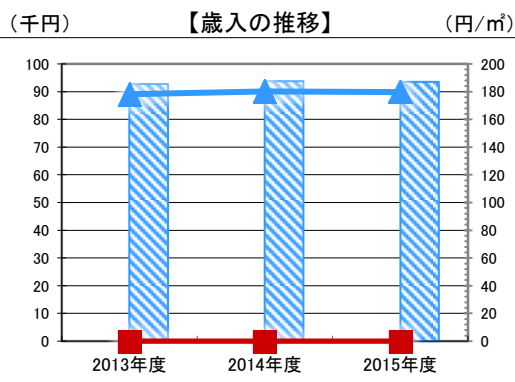
区分	対応	費用対効果のとらえ方
A	継続	コストと利用度のバランスが良い
B1	コスト改善	コスト面の改善が必要
B2	利用度改善	利用度の改善が必要
C	見直し	コストと利用度のバランスが悪い

凡例: ■... 当該施設 ◆... 比較対象(分類)の他施設

※利用度...供給情報の★印の項目値



凡例	当該施設	総額(千円)	延床面積あたり(円/㎡)
例	分類平均	総額(千円)	延床面積あたり(円/㎡)



凡例	当該施設	総額(千円)	延床面積あたり(円/㎡)
例	分類平均	総額(千円)	延床面積あたり(円/㎡)

